旧自由亭

1879年に建てられた自由亭は、日本で初めて洋食だけを提供したレストランの一つで、出島でオランダ人に働きながら、ヨーロッパ料理の作り方を学んだ草野丈吉(1840~1886年)が開いた。出島は長崎湾に浮かぶ人工の島で、1640年代から1850年代にかけて、西洋人が日本に居住し、働くことを許された唯一の場所である。丈吉は長崎で育ち、1863年に最初のレストランである良林亭を自宅にオープンし、数年間経営していた間に自遊亭と改名した。1868年後、彼は長崎を離れて大阪と京都でレストランを開いた。10年後に帰郷し、馬町の諏訪神社近くのこの建物で元の自由亭を再開した。

自由亭は当時の長崎三大大洋食店の一つで、華麗な店内は長崎の役人が公式行事を行う際に好んだ。1886年に貞吉が死去し、翌年に自由亭は閉店した。建物は長崎地方裁判所に買い取られ、検事正官舎として使用した。1973年に長崎県にされ、1974年に現在のグラバー園内に移築された。

二階の食堂は喫茶店に改造されている。

採用番号 NO :	023-010
-----------	---------